

横浜市社会福祉センター指定管理者選定評価委員会 第三者評価 第1回会議 会議録	
日 時	平成 27 年 7 月 22 日 (水) 午後 4 時～5 時 45 分
開催場所	横浜市社会福祉センター 10 階横浜市社会福祉協議会会議室
出席者	豊田宗裕(委員長)、奥山千鶴子、小澤朋人
欠席者	田村加代子、山田初男
開催形態	公開(傍聴者なし)
議 題	1 会議の公開・非公開について 2 指定管理者第三者評価の趣旨及び進め方について 3 施設概要について 4 評価項目(案)について 5 施設の視察 6 今後の日程について
決定事項	1 本日の会議は公開とする。 2 評価項目(案)は原案どおりとする。 3 第2回の会議は公開とする。
議 事	<p>質疑要旨</p> <p>1 会議の公開及び議事録の公開について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の会議は、特に非公開にすべき事由がないため、公開で行うことと了承された。 <p>2 指定管理者第三者評価の趣旨及び進め方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から資料3に沿って説明。 <p>3 施設概要について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から資料4に沿って説明。 <p>(豊田委員長) 利用実績において、利用件数の1日平均は18件となっているが、仮に利用が100%となった場合には何件になるのか。全体の利用率はどうであったか。</p> <p>(事務局) 年間平均では75%強の利用率である。</p> <p>(小澤委員) 施設利用者内訳の「一般利用者」について、26年度の増加が著しいが、その理由は何か。</p> <p>(事務局) 25年度に利用料金が改定されたこともあって利用が減少したが、幅広く広報等を行ったため次年度から持ち直したと思われる。</p> <p>(豊田委員長) 利用料金収入の状況を見ると、減免も多いように思われるが、福祉関係の利用が多いためか。</p> <p>(事務局) 福祉関係の利用が多いためだが、一般利用も増加している。</p> <p>(奥山委員) 横浜市の利用については全額または半額の減免だが、その利用件数はどうであったか。「行政等」の利用うち横浜市はどのくらいあるのか。</p> <p>(事務局) 本日質問のあった内容は、事前送付資料及び第2回会議のヒアリングで確認いただく。</p> <p>4 評価項目(案)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から資料5に沿って説明。 <p>(奥山委員) 評価項目の内容は、他の市民利用施設等とほぼ同じか</p> <p>(事務局) 基本的には同じ内容が多い。専門性、特性のある施設として大項目Vを設けたこともあり、大項目I～IVについては他の施設より簡略にまとめた。</p> <p>(奥山委員) 指定管理者が「できている」と自己評価した項目について、評価委員会が「できていない」と評価することもあり得るのか。</p> <p>(事務局) 指定管理者の提出資料や質疑等を踏まえて評価するので、指定管理者と評価結果が異なることもあり得る。その場合、「できている・できていない」のチェックだけでなくコメントも記述する必要がある。</p> <p>(豊田委員長) 地域ケアプラザでは評価は得点していたようだが、今回は記述で評価を示していくことになる。例えば「一体運営のメリット」についても、指定管理者にヒアリングし</p>

	<p>た結果、それを評価委員会として受け止めて記述し、次回の指定管理期間の考え方につなげてもらうようなことも考えられるのか。</p> <p>(事務局) 選定評価委員会から今回御意見を頂いて、その御意見を踏まえて、次回の指定管理期間につなげられるよう検討することになる。</p> <p>(豊田委員長) 本施設を利用している委員も多くいるので、ここで提供されている活動がどれだけ社会福祉の振興に貢献しているかについてご意見をいただいきたい。各区に福祉保健活動拠点があり、中学校区に1つのケアプラザがあるという状況も踏まえて、市域に一つというこの社会福祉センターのあり方を考えていきたい。</p> <p>(豊田委員長) 評価項目については、原案どおりでよろしいか。</p> <p>(各委員) 異議なし。</p> <p>5 施設の視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者の案内で、社会福祉センター内の施設を視察。 ・視察中、委員の質問に対し指定管理者から随時回答。 <p>6 今後の日程について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から資料6に沿って説明。 <p>7 第2回会議の公開・非公開について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回の会議は、特に非公開にすべき事由がないため、公開で行うことので承された。
資料・特記事項	<p>1 資料</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 名簿 2 横浜市社会福祉センター指定管理者選定評価委員会運営要綱 3 第三者評価の実施について 4 施設概要 5 評価項目案・評価シート案・論点整理表 6 スケジュール・日程調整表 <p>2 特記事項</p> <p>第2回会議の日程については後日調整する。</p>

横浜市社会福祉センター指定管理者選定評価委員会（第三者評価）第2回会議 会議録	
日 時	平成 27 年 9 月 28 日(月) 午後 6 時～7 時 50 分
開催場所	横浜市社会福祉センター 8 階 8F 会議室
出席者	評価委員: 豊田宗裕(委員長)、奥山千鶴子、小澤朋人、田村加代子(職務代理人)、山田初男 指定管理者: 総務部長 木下眞佐美 地域活動部長 酒井正樹 他数名
欠席者	なし
開催形態	公開(傍聴者なし)
議 題	1 会議の進め方について 2 評価シート案について 3 第3回会議の公開・非公開について 4 第3回会議の日程調整と今後のスケジュールについて 5 評価シートの提出について
決定事項	1 評価シート中、評価の総括及び大項目 V を中心に、指定管理者へのヒアリングを実施。 また、評価に関する各種資料は会場に用意し、議事終了後に各委員が必要に応じて確認。 2 各委員による評価は、10 月 16 日までに事務局あて提出。 3 提出された各委員の評価をもとに、委員長及び事務局で評価取りまとめ案を作成。 4 第3回会議で評価取りまとめ案について審議。 4 第3回の会議は公開で開催。
議 事	<p>議事要旨</p> <p>1 会議の進め方について (事務局から説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「評価の総括」及び大項目 V 「施設の特質、専門性」を中心に議論いただく。 ・各委員の評価は評価シートに記入いただき、後日事務局あて提出いただく。 ・各委員の評価をもとに、委員長と事務局が評価取りまとめ案を作成し、第3回会議で確認をいただく。 ・会議の流れとしては、評価シート案に沿って進める。 <ul style="list-style-type: none"> ①大項目 I～IV、VI について、事務局から説明し、質疑応答を行う。 ②大項目 V、評価の総括について、事務局から説明し、指定管理者へのヒアリングを行う。 ③大項目 V、評価の総括を中心に、全体を通して評価の記載等に関する確認、議論を行う。 ・会場に用意している評価関連資料は、議事終了後に各委員が必要に応じて確認を行う。 <p>2 評価シート案について (事務局から説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大項目 I～IV、VI について、評価シート案に沿って説明。 <p>(各委員) 質問・意見なし。</p> <p>◆指定管理者へのヒアリング◆ (事務局から説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大項目 V について、評価シート案に沿って説明。 <p>(小澤委員) 施設の運営状況について、施設の稼働率は上がっているのに、利用料収入が減っている理由は何か。 (指定管理者) 減免対象の利用が増加したことなどによると考えるが、更に分析していきたい。</p> <p>(豊田委員長) ボランティア活動に関する情報収集・提供の事業について、今期から広域ボランティアセンターとして情報提供の機能を果たすことになったが、どんな支援を行い、市域全体のボランティア情報をどう把握しているか。 (指定管理者) 市民の生活圏が広域化しているので、ボランティアのニーズを各区につなげるよう広域センターとして情報発信している。ボランティア団体や利用団体と顔の見える関係を築き、日頃から情報を把握し、各区のボランティアセンターが収集した情報を集約し、全区に提供している。 (奥山委員) ホームページのアクセス数減少の原因は何か。若年層へはどう働きかけている</p>

か。

(指定管理者) ボランティア登録廃止が一因だと考えている。若年層へは、SNS (ソーシャルネットワーキングサービス) による広報に力を入れており、更にホームページのカレンダーにボランティア情報をリンクすることや、メール配信等を予定している。

(田村委員) 区ボランティアセンター支援担当者の配置や活動の状況はどのようなか。

(指定管理者) 職員6人が3区ずつ担当し、各区のスタッフ会議や事例検討会への参加を通して課題の共有を図っている。

(豊田委員長) 利用者交流会とはどのようなものか。

(指定管理者) 利用団体同士の交流、活動紹介を行い、施設に対する要望等もいただいている。

(田村委員) ボランティアに関する相談の主な内容は何か。

(指定管理者) ボランティア団体からは、活動資金、人材育成、関係法令など団体運営関連が多い。市民からは、ボランティアをしたい、してほしい、という相談が多い。

(小澤委員) 社会福祉センターをボランティアセンターとそれ以外に分けたとき、経費や原価をどうとらえているか。

(指定管理者) 会計上は精査すれば分かると思うが、今ここでお答えできるものはない。

(事務局から説明)

- ・評価の総括について、評価シート案に沿って説明。

(山田委員) 視覚障害者に対する応対研修では、講師はどうしているのか。

(指定管理者) 視覚障害者の方を講師に招き、研修を行っている。

(奥山委員) 利用者アンケートの実施状況はどうか。利用者からの要望にはどう対応しているか。

(指定管理者) アンケートは、26年度4,420件の回答があり、73.6%から「非常によい」又は「よい」の評価をいただいた。要望については、ご意見箱を設置して対応し、要望内容に対する回答は掲示している。

(小澤委員) 26年度の水光熱費が増えた原因は何か。サピエ図書館の費用弁償とは何か。

(指定管理者) 複合施設なので共用部分の水光熱費を他の入居者と按分負担しているが、前年度の按分計算に誤りがあり、26年度に精算したため増加した。費用弁償は、視覚障害者向けボランティアの図書館利用に関するもので、謝金である。

(豊田委員長) 本施設は駅に近いこともあり、防犯上の心配はないのか。これまでの状況はどうか。

(指定管理者) 事件や事故が発生した例はない。

(奥山委員) 本施設は、発災時に災害ボランティア支援センターになるが、どのような災害対策を立てているか。

(指定管理者) 市外からのボランティア関連の問い合わせ対応や行政機関との調整が主になる。南三陸町の社会福祉協議会の方を講師を招いて、より現実的な検討にも着手している。

(田村委員) 職員の年齢層や非常勤職員の勤続年数はどうか。認知症への対応はどのようにしているか。

(指定管理者) 職員は30歳代後半から40歳代が最も多いのではないかと思う。非常勤職員の雇用については、ベテランもいれば新人もいる。認知症キャラバンには力を入れているが、更に改善の余地があると思っている。

◆評価機関記述欄の記載の検討◆

(小澤委員) V (1) ①「ボランティア活動に関する情報収集・提供の事業の実施」について、原案では「情報提供」の面のみ取り上げて評価しているが、「情報収集」についても何か評価できる指標はないか。

(事務局) 情報収集については、定量化による分析や効果測定を今後検討したいと考えてい

横浜市社会福祉センター指定管理者選定評価委員会（第三者評価）第3回会議 会議録	
日 時	平成 27 年 11 月 19 日(木) 午後6時～7時
開催場所	横浜市社会福祉センター 9階 904 会議室
出席者	豊田宗裕(委員長)、奥山千鶴子、小澤朋人、田村加代子(職務代理者)、山田初男
欠席者	なし
開催形態	公開(傍聴なし)
議 題	1 会議の進め方と今後のスケジュールについて 2 評価報告書の審議
決定事項	1 評価報告書及び評価シートについて、案のとおり了承。 2 委員長及び事務局において評価報告書を最終調整のうえ委員に送付し、委員の確認を得たのちに評価を確定する。
議 事	<p>質疑要旨</p> <p>1 会議の進め方と今後のスケジュールについて (事務局から説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第3回会議を踏まえ、修正を加えたのち、12月中には報告書を確定させる。 ・ 確定後、委員会から横浜市長へ評価報告書を提出する。 ・ 評価報告書は、市ホームページで公表する。 <p>2 評価報告書案について (事務局から説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設概要、第三者評価制度の概要、評価結果の記載について、評価報告書案にそって説明。 <p>(委員) 異議なし。</p> <p>3 評価シート案について (事務局から説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2回会議以降の委員からの意見と、意見に基づく修正点について、評価シート案にそって説明。 <p>(委員) 異議なし。</p> <p>(委員) 感想になるが、指定管理者として社協が書類やマニュアル等努力して整備しているのは理解できた。だが、社協は近年、地域との距離が大きくなっているのではないかと感じる。(社協が指定管理者として運営している) 地域ケアプラザや区社協にしても、職員の異動スパンが短い。短期間の勤続年数では、地域のニーズの受けとめや関係性の構築、課題への対応策を練ることは難しくなる。地域力が低下していると言われる昨今、社協には、社会福祉を推進する団体としてあるべき姿を追求し、より「地域にねぎした」活動を行ってもらうことを期待している。</p> <p>4 評価報告書の確定について (事務局、委員長から説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の会議を踏まえて最終調整を行った評価報告書を委員あて送付し、各委員の確認を得たのちに確定する。
資 料 ・ 特記事項	<p>1 資料</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 会議の進め方と今後のスケジュールについて 2 評価報告書(案) 3 評価シート(案) 4 ご質問・ご意見への回答 <p>2 特記事項 なし</p>

	<p>る。 (豊田委員長) 現状でも情報の収集について評価できるものもあるので示したい。</p> <p>3 第3回会議公開・非公開について ・第3回の会議は、特に非公開にすべき事由がないため、公開で行うことでも了承された。</p> <p>4 第3回会議の日程調整と今後のスケジュールについて (事務局から説明) ・資料2、3に沿って説明。</p> <p>5 評価シートの提出について ・各委員の評価は、10月16日(金)までに提出いただく。</p>
資料・特記事項	<p>1 資料 1 評価シート案、 2 日程調整表 3 実施スケジュール</p> <p>2 特記事項 第3回会議の日程については後日調整する。</p>